

# 2024年3月期第2四半期 決算説明会資料

2023年11月29日

株式会社 **ランドコンピュータ**  
(東証プライム：3924)

# 目次

1. 会社概要 .....	2
2. 2024年3月期第2四半期累計業績資料 .....	7
3. 2024年3月期連結業績予想 .....	15
4. 今後の成長戦略 中期経営計画 (VISION 2025) .....	17
5. 株主還元 .....	29
6. ランドコンピュータのサステナビリティについて .....	33

# 1. 会社概要

---

# 会社概要



会社名	株式会社ランドコンピュータ (英文 R&D COMPUTER CO.,LTD.)	
代表者	代表取締役会長 田村 秀雄 代表取締役社長 福島 嘉章	
設立	1971年(昭和46年)1月13日	
決算月	3月31日	
資本金	4億6,006万3,700円	(2023年9月30日現在)
売上高	連結: 115億7,894万円 単体: 105億1,863万円	(2023年3月31日現在)
社員数	連結: 565人 単体: 518人	(2023年9月30日現在)
本社所在地	東京都港区芝浦4丁目13番23号 MS芝浦ビル	
関西事業所	大阪府大阪市西区土佐堀1丁目3番20号 三菱重工大阪ビル	
連結子会社	株式会社インフリー 株式会社テクニゲート (2023/1/1社名変更)	
認定資格	プライバシーマーク 品質マネジメントシステム (QMS) 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)	



左 代表取締役会長 田村秀雄  
右 代表取締役社長 福島嘉章



本社

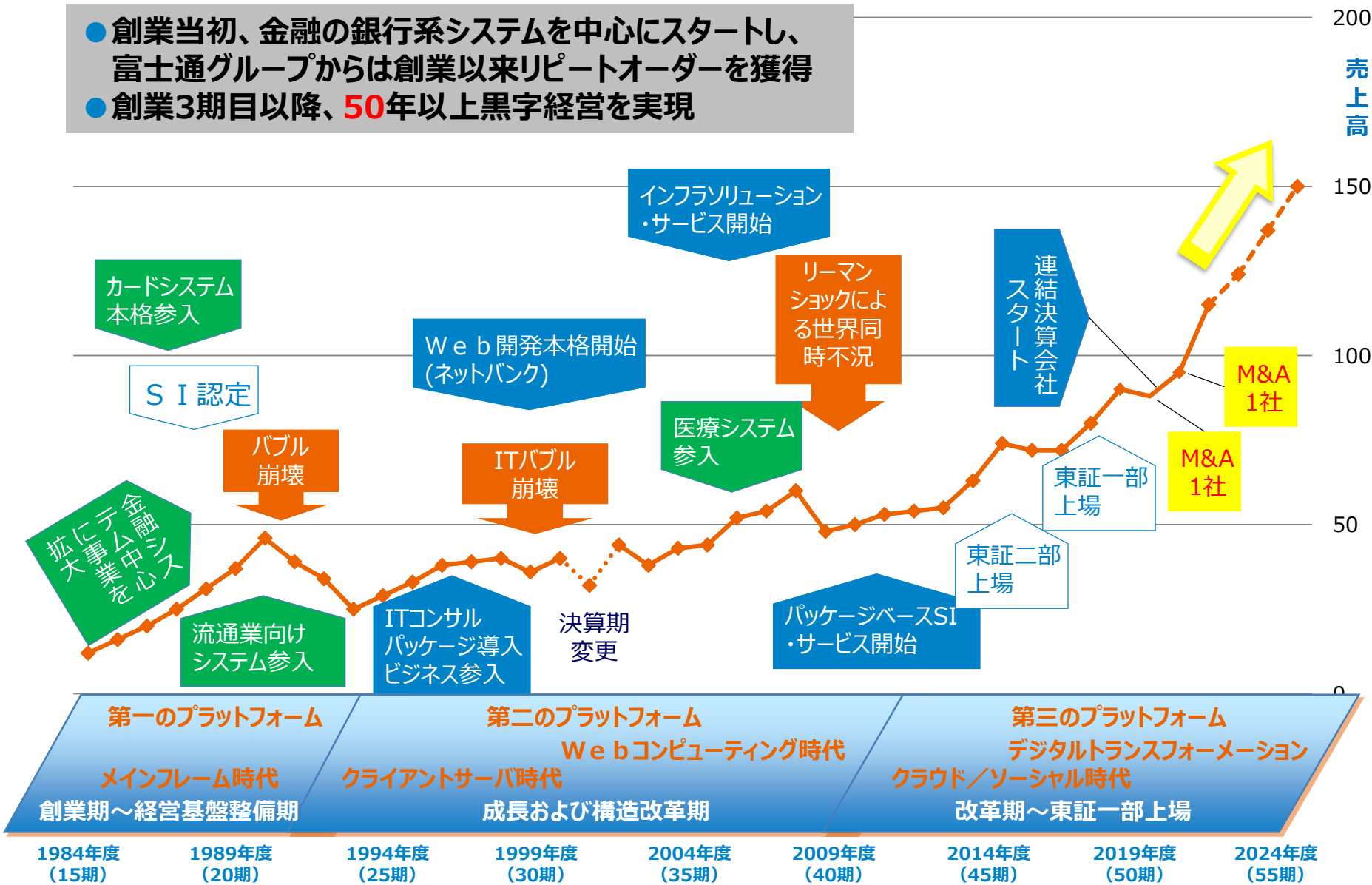


関西事業所

# ランドコンピュータの歩み

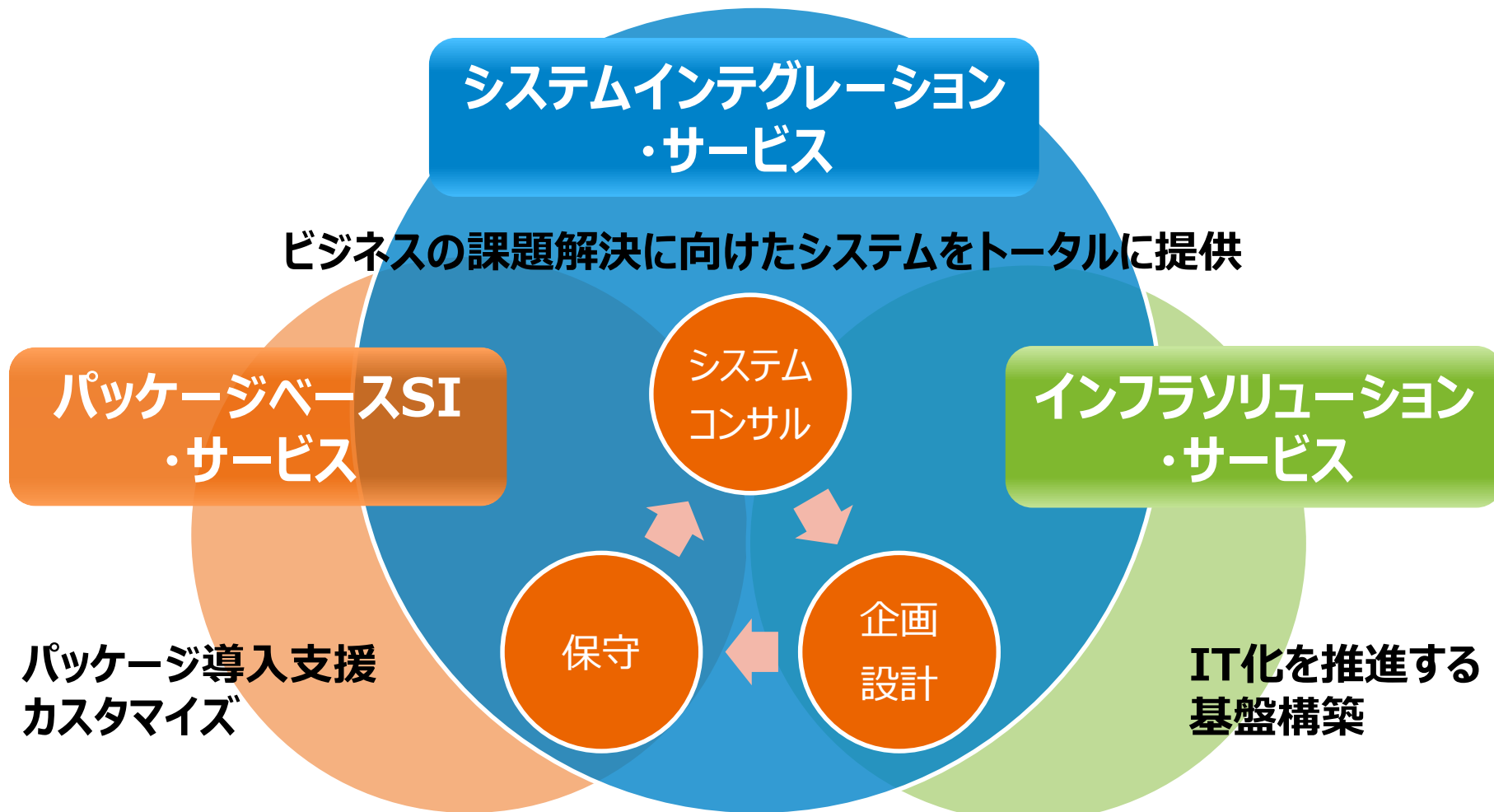
単位：億円

- 創業当初、金融の銀行系システムを中心にスタートし、富士通グループからは創業以来リピートオーダーを獲得
- 創業3期目以降、50年以上黒字経営を実現



# 事業の特徴：ワンストップサービスの提供

お客様のビジネスの「スピード」に対応し、  
情報システムの「品質」と「安全性」を高めることを使命として、  
ワンストップかつ業種横断的な施策でお客様のビジネスに「解決策」をもたらします。



①

**50年にわたる安定した経営実績**

②

**技術力、業務知識、  
品質に裏付けされた強固な顧客基盤**

③

**創業母体が学校法人だからこそその充実の教育  
体制で、人材育成に対する積極的投資**

- **IT系資格：1,972人、業務系資格：263人、平均3.97資格/人  
(2023.9末現在)**

④

**ビジネスパートナー（協力会社）  
との長期的協力関係構築**

## 2. 2024年3月期第2四半期累計業績資料

---



# 2024年3月期第2四半期累計 業績概況

	24/3期 2Q実績	対計画		対前期	
		24/3期 2Q計画	増減率	23/3期 2Q実績	増減率
売上高	6,465	5,760	+12.2%	5,404	+19.6%
営業利益	761	587	+29.8%	442	+72.1%
営業利益率	11.8%	10.2%	+1.6P	8.2%	+3.6P
経常利益	775	587	+32.2%	452	+71.6%
経常利益率	12.0%	10.2%	+1.8P	8.4%	+3.6P
親会社株主に帰属する 当期純利益	525	360	+45.9%	269	+95.1%

## 増減要因

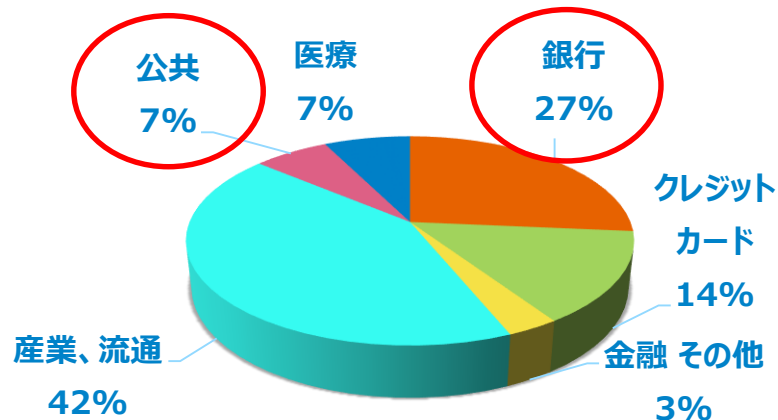
売上高につきましては、システムインテグレーション・サービスにおける金融・公共分野、パッケージベースSI・サービスにおけるSAP・会計パッケージ分野が堅調に推移したことにより、計画比12.2%増加いたしました。利益面につきましては、処遇改定に伴う人件費増加や新デジタル分野への人材育成費用等の人的資本投資に伴う経費が増加しましたが、増収による増益分に加え、高付加価値ビジネス推進へのシフトによる利益率改善等により、当期純利益は計画45.9%増加いたしました。

# システムインテグレーション・サービス 業種別売上高

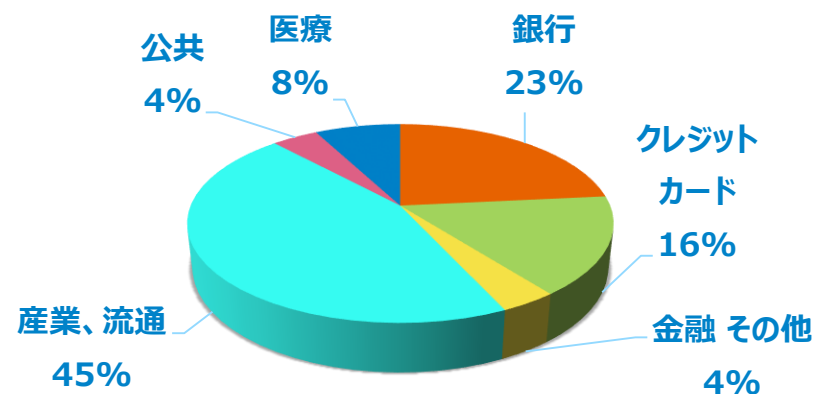
	24/3期2Q	23/3期2Q		
	金額	金額	前期比	
システムインテグレーション・サービス	3,657	3,020	+636	+21.1%
銀行	965	707	+257	+36.4%
クレジットカード	519	483	+36	+7.5%
金融 その他	117	111	+5	+4.6%
産業、流通	1,547	1,357	+189	+13.9%
公共	236	125	+111	+88.8%
医療	270	233	+37	+15.8%

24/3期2Q 業種別（構成比）

○：構成比が増加している業種



23/3期2Q 業種別（構成比）



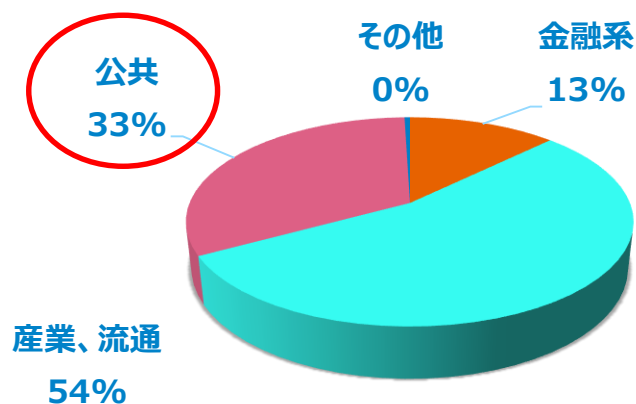
# インフラソリューション・サービス 業種別売上高

単位：百万円

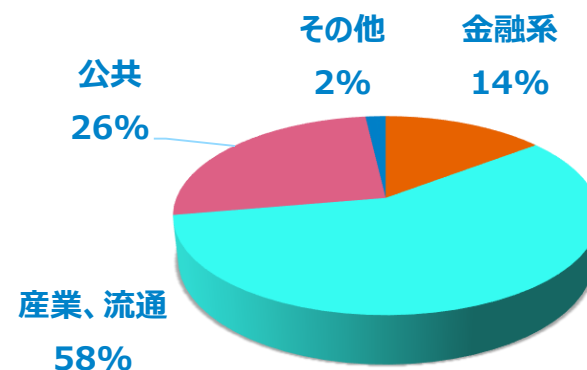
	24/3期2Q	23/3期2Q		
	金額	金額	前期比	
インフラソリューション・サービス	648	603	+44	+7.4%
金融系	82	88	△5	△6.8%
産業、流通	351	347	+4	+1.2%
公共	210	156	+54	+34.9%
その他	3	11	△7	△68.8%

24/3期2Q 業種別（構成比）

○：構成比が増加している業種



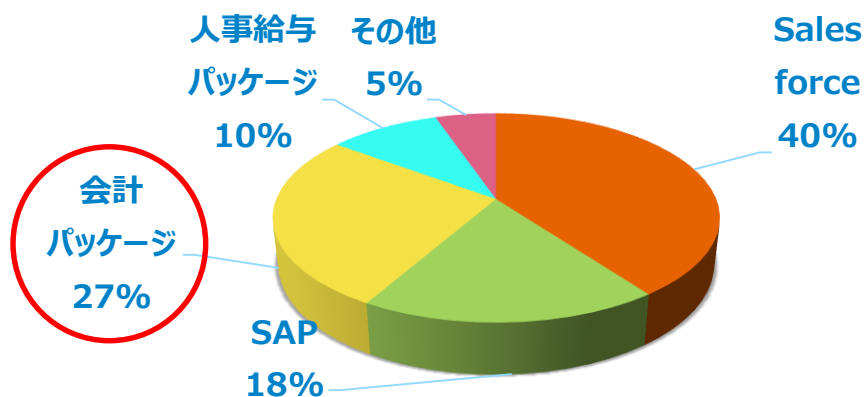
23/3期2Q 業種別（構成比）



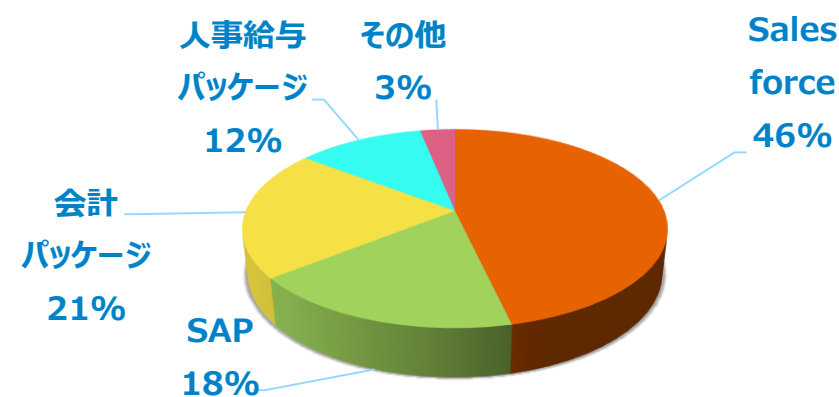
# パッケージベースSI・サービス 業種別売上高

	24/3期2Q	23/3期2Q		
	金額	金額	前期比	
パッケージベースSI・サービス	2,160	1,780	+379	+21.3%
Salesforce関連ビジネス	860	825	+35	+4.3%
SAP	397	318	+78	+24.8%
会計パッケージ (SuperStream、奉行)	580	375	+205	+54.9%
人事給与パッケージ (COMPANY、SuperStream)	207	204	+2	+1.4%
その他 (DynamicsCRM他)	113	56	+56	+100.2%

24/3期2Q 業種別 (構成比) ○ : 構成比が増加している業種

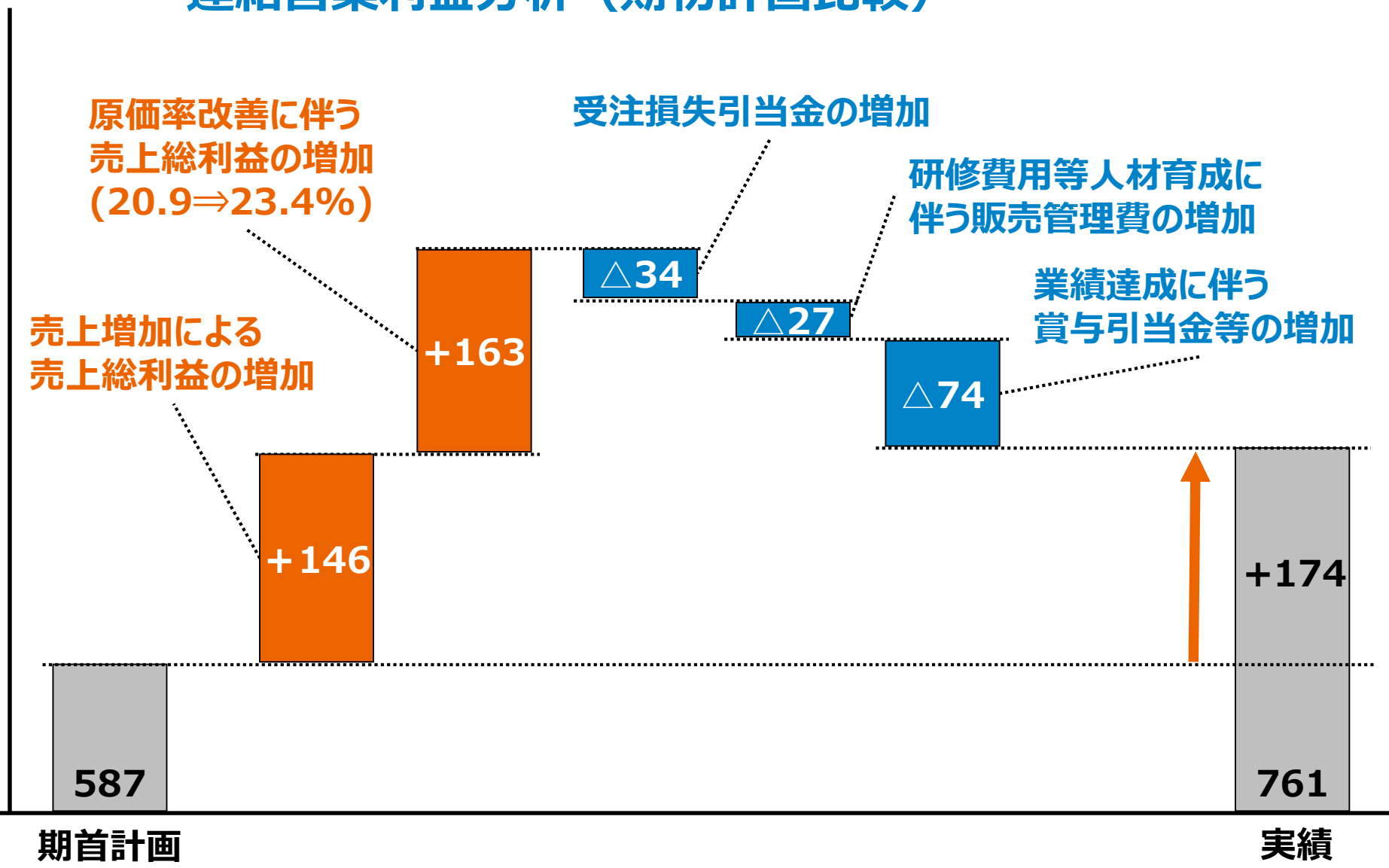


23/3期2Q 業種別 (構成比)



# 2024年3月期第2四半期累計

## 連結営業利益分析（期初計画比較）



# 2024年3月期第2四半期末 連結貸借対照表

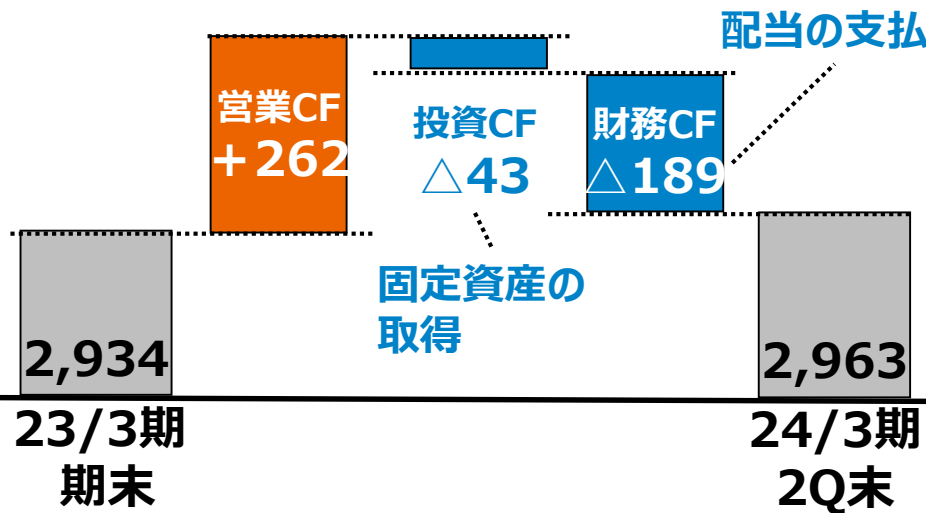
	24/3期2Q末		23/3期末			増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	
流動資産	6,511	83.6	6,139	81.8	+371	【増加理由】(流動) 売掛金及び契約資産 + 2億98百万円 仕掛品 + 60百万円 有価証券 + 1億円
固定資産	1,281	16.4	1,362	18.2	△81	
資産合計	7,793	100.0	7,502	100.0	+290	【減少理由】 (流動) 現金及び預金 △67百万円 その他流動資産 △16百万円 (固定) のれん及び顧客関連資産 △52百万円 繰延税金資産 △34百万円
流動負債	1,968	25.3	2,013	26.8	△45	【増加理由】(流動) 買掛金 + 49百万円、未払金 + 57百万円 契約負債 + 34百万円、預り金 + 13百万円 受注損失引当金 + 16百万円
固定負債	620	8.0	623	8.3	△3	
負債合計	2,588	33.2	2,637	35.1	△48	【減少理由】(流動) 未払法人税等及び未払消費税等 △73百万円 賞与引当金及び役員賞与引当金 △1億31百万円 株主優待引当金 △15百万円
株主資本	5,118	65.7	4,783	63.8	+335	【増加理由】 利益剰余金 + 3億36百万円
その他の包括利益累計額	67	0.9	67	0.9	+0	
非支配株主持分	18	0.2	15	0.2	+3	
純資産合計	5,204	66.8	4,865	64.9	+338	
負債・純資産合計	7,793	100.0	7,502	100.0	+290	
自己資本比率	66.6%		64.7%			

# 2024年3月期第2四半期累計

## 連結キャッシュ・フロー計算書

営業C/F主な増減要因	金額
税引等調整前四半期純利益	+775
のれん償却額及び減価償却費	+85
仕入債務の増加	+49
受注損失引当金の増加	+16
契約負債の増加	+34
その他流動資産の減少額	+19
その他流動負債の増加	+70
売上債権の増加	△298
棚卸資産の増加	△60
賞与引当金及び役員賞与引当金の減少額	△131
株主優待引当金の減少額	△15
法人税等の支払額	△296

	24/3期 2Q	23/3期 2Q	前期比
営業CF	262	430	△168
投資CF	△43	△515	+472
財務CF	△189	△160	△29
現金及び現金同等物の増減額	29	△244	+274
現金及び現金同等物の期首残高	2,934	2,883	+50
現金及び現金同等物の期末残高	2,963	2,638	+325



## 3. 2024年3月期連結業績予想

---



# 2024年3月期業績予想 連結損益計算書



単位：百万円

	22/3期	23/3期	24/3期 (修正前)	24/3期 (修正後)	増減率	対前期 増減率
売上高	9,596	11,578	12,400	13,300	7.2%	14.9%
営業利益	872	1,222	1,429	1,615	13.0%	32.1%
経常利益	879	1,238	1,447	1,636	13.1%	32.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	627	772	900	1,070	18.9%	38.6%

2024年3月期業績予想は、2023年11月13日公表の第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせをご参照ください。

## 4. 今後の成長戦略

---

# ランドコンピュータグループ 中期経営計画（VISION 2025）

## 市場動向

国内IT市場

不透明な国際情勢のリスクを抱えながらも、国内の景気回復に伴い堅調な市場拡大が見込まれる。

新技術

システムの安定稼働が益々重要となる一方で、アジャイル開発や生成AI等の革新的な新技術が次々と登場。



**新デジタル人材の育成と並行して、  
従来型開発とDX型開発の使い分けが重要となる。**

分類	特長
従来型 開発	<p>大量のデータを正確かつ効率的に記録、蓄積、活用するシステム。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●品質・コスト重視： スクラッチ開発、ウォーターフォール、パッケージ、クラウド、共同化</li> </ul>
DX型 開発	<p>短時間でサービスの提供と改善を繰り返すシステム。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スピード・柔軟性重視： アジャイル開発、ローコード開発、クラウド、生成AI</li> </ul>

# 中期経営計画 (VISION2025) 数値計画

	2023年度 24/3期			2024年度 25/3期	2025年度 26/3期
	修正予想	2Q実績	修正予想 進捗率	計画	計画
売上高	13,300	6,465	49%	13,700	15,000
営業利益	1,615	761	47%	1,620	1,800
経常利益	1,636	775	47%	1,635	1,850
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,070	525	49%	1,020	1,150

2024年3月期業績予想は、2023年11月13日公表の第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせをご参照ください。

■ **積極的なM&Aの推進**

■ **業務提携先との更なる連携強化**

■ **DXビジネス推進**

クラウド、パッケージベースSI

ローコード開発、アジャイル開発

■ **人材育成への投資と得意分野の強化**

■ **既存SI分野の更なる売上拡大**

## ● 積極的なM&Aの推進

当社と相乗効果を生む事業を有する企業に資本参加し、  
**グループ全体の事業規模を拡大**

VISION2023においてM&A 2社実施し、  
現在もM&A提携先を検討中

→2021年4月に株式会社インフリー、  
2022年4月に株式会社テクニゲートの株式を取得し子会社化

## ● 業務提携先との更なる連携強化

優れたIT商材や独自技術を有する企業との連携を深め、  
**ソリューション対応によるパッケージベースSI・サービスの**  
**領域を拡大 (ServiceNow等)**

## ● DXビジネス推進①

### ～ クラウド、パッケージベースSI ～

#### ① Salesforceビジネスの全社展開継続

2021年度 売上高14.3億円（前年比111%）

2022年度 売上高18.2億円（前年比127%）

→2023年度22.0億円（対2022年度比 121%）

2023年度上期売上高 8.6億円（前年比104%）

#### ② SAP、SuperStream等の

#### パッケージベースSI・サービス比率の向上

2021年度 27.8%→2022年度 33.5%

→2023年度35.5%（対2022年度+2.0%）

2023年度上期 33.4%

#### ③ パッケージベースSI・サービス拡大に伴う直ユーザー取引の拡大

#### ④ インフラソリューション分野における

#### クラウドビジネス(AWS・Azure等)の構造改革の推進

## ● DXビジネス推進②

### ～ ローコード開発、アジャイル開発 ～

#### ① GeneXus、Microsoft Power Platform

を中心としたローコード開発要員の育成

→2023年度末までに50名の技術者育成

資格取得者数 2022年度末16名 2023年度上期末 18名

#### ② ローコード開発、クラウドネイティブ開発は

アジャイル開発手法がスタンダードに。

→R&Dアジャイル開発標準の確立

現在、当社でのプロジェクト管理ツールの適用開始



## ● DXビジネス推進③

### ～ 生成AIへの取り組み ～

#### 事業化 に向けた 取り組み

- DXビジネスの強化施策として、生成AIの事業展開企画を2023年下期よりスタート
- Salesforce「Einstein Copilot」、Service Now「Now Assist」、Microsoft「Azure OpenAI Service」など、生成AIサービスの調査研究と、提案モデルの策定や実装に必要なスキル修得の検討を推進

#### 実績

- 大手コンサルファーム様の社内システムへの生成AI実装プロジェクトに参画
- 大手サービスプロバイダー様の新規事業への生成AI実装提案

## ● 人材育成への投資と得意分野の強化

### ① 人材育成への積極投資

業務系資格とIT系資格取得の推進を加速し、パッケージベースSIサービス、クラウド、ローコード開発等の**新デジタル技術資格取得**に注力

### ② 得意分野の更なる強化

**ノウハウを保有する分野と新規戦略分野に注力し、生産性の高い開発を推進**

## ● 既存SI分野の更なる売上拡大

### ① 金融分野の領域拡大

→Salesforce事業の立ち上げによる領域拡大

2021年度52M→2022年度126M（前期比239.8%）

→2023年度150M（2022年度比119.5%）

### ② 公共分野の受注拡大

2021年度262M→2022年度402M（前期比153.0%）

→2023年度500M（2022年度比124.4%）

### ③ 富士通G、日立G、NTTD等とのアライアンス強化

### ④ 既存システムのモダナイゼーション推進

モダナイゼーションとは、経営環境の変化やシステム老朽化に対応するために、既存のソフトウェア・データなどのIT資産を活用しつつ、最新の技術や設計技法を取り入れたシステムに置き換えることを指します。

# 中期経営計画 (VISION2025) サービスライン別売上高



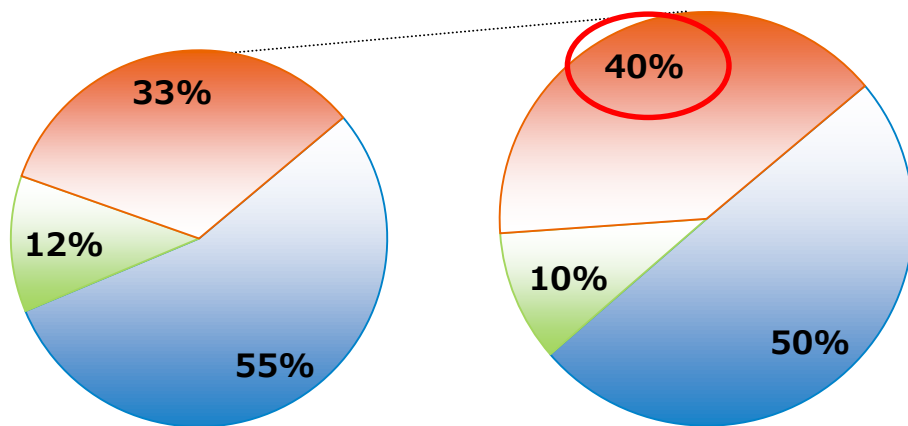
単位：百万円

サービスライン	23/03期 実績	24/03期 修正予想	24/03期2Q		25/03期 計画	26/03期 計画	平均 成長率
			実績	計画進捗率			
システムインテグレーション	6,345	7,050	3,657	51.9%	7,008	7,460	5.5%
インフラソリューション	1,354	1,450	648	44.7%	1,500	1,540	4.4%
パッケージベースS I	3,879	4,800	2,160	45.0%	5,192	6,000	15.6%
<b>売上高 計</b>	<b>11,578</b>	<b>13,300</b>	<b>6,465</b>	<b>48.6%</b>	<b>13,700</b>	<b>15,000</b>	<b>9.0%</b>

## ■ サービスライン別売上高構成比

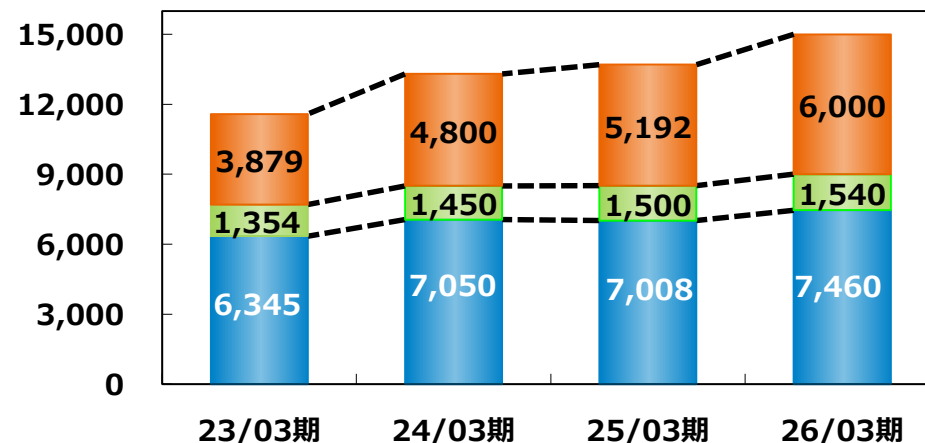
(23/03期 実績)

(26/03期 計画)



## ■ サービスライン別売上高推移

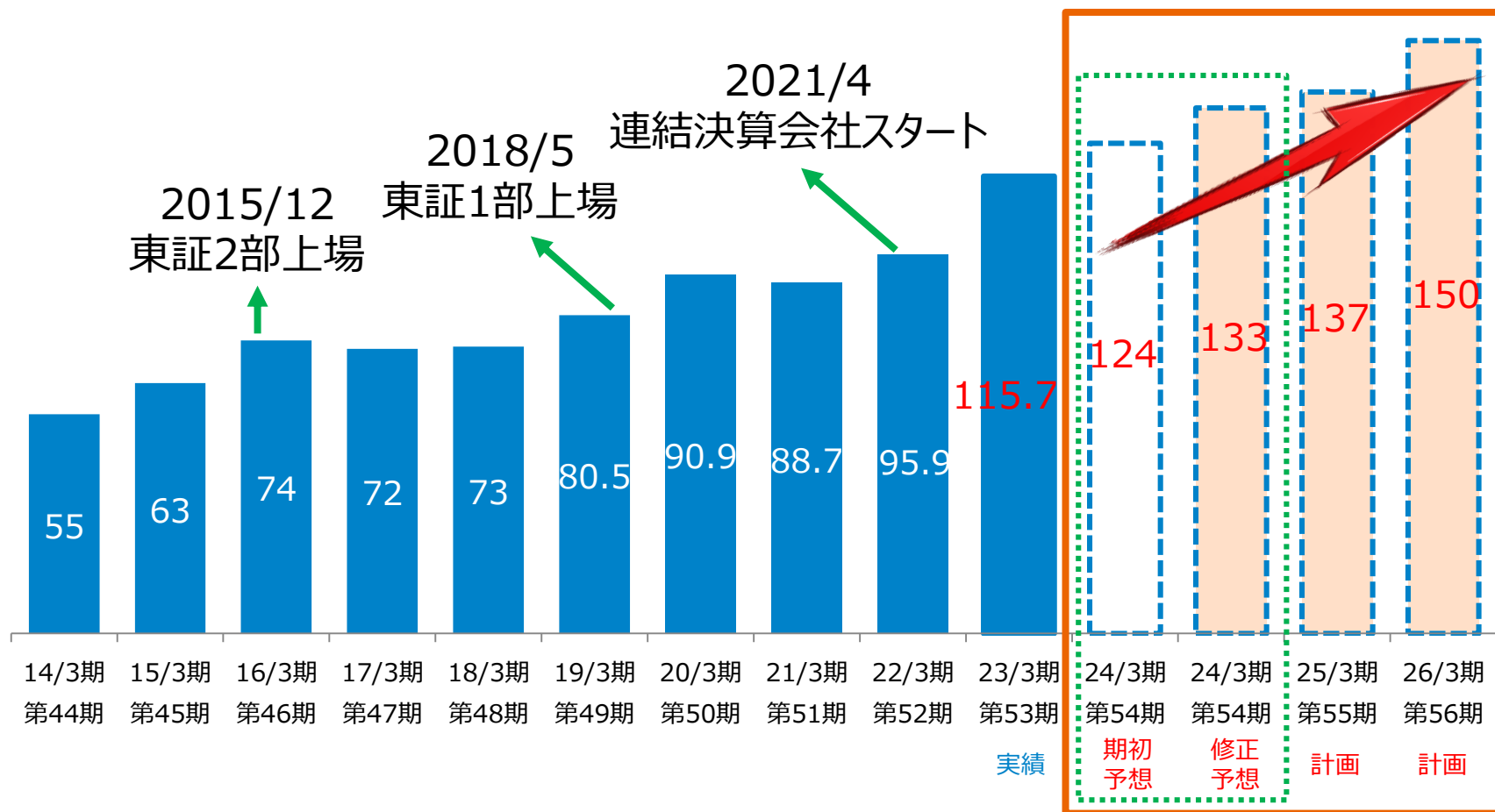
■ システムインテグレーション ■ インフラソリューション ■ パッケージベースSI



2024年3月期業績予想は、2023年11月13日公表の第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせをご参照ください。

## 売上高

# VISION 2025



2024年3月期業績予想は、2023年11月13日公表の第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせをご参照ください。

# 5. 株主還元

## 資本政策・株主還元について

---

## ◆資本政策

当社は、人材が最も重要な経営資源と捉えており、企業価値向上するためには人的資本への投資が必要不可欠であります。**採用・教育の強化、DX推進による新事業領域拡大、M&A等**を中心に資本効率を考慮し実施してまいります。

## ◆株主還元

当社は、業績向上に応じて、継続的かつ安定的な利益還元を行っていくことを基本方針としており、連結配当性向40%以上利益還元していく方針であります。

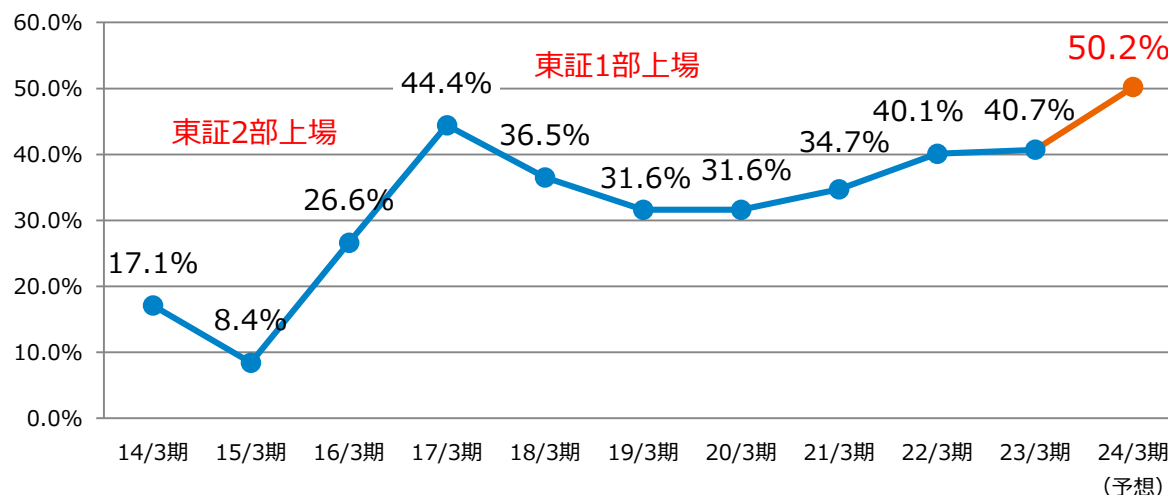
今般、中期経営計画（VISION2023）を延長し、株主還元策として、**2024年3月期から2026年3月期までの3期間において連結配当性向を50%以上還元していくことにより、株主還元の強化を図ってまいります。**

## ・配当方針

2024年3月期から2026年3月期までの3期間において、**連結配当性向を50%以上還元に変更します。**

※業績動向に伴い、配当金、配当性向の見直しを実施

● 2024/3期  
配当性向予想  
50.2%



注) 当社は、2015年8月3日に1株を5株の割合で、2016年9月1日に1株を3株の割合で、2021年10月1日に1株を1.5株の割合で株式分割を行っており、2023年11月1日に1株を2株の割合で株式分割を行っております。配当については当該株式分割を考慮して算定しております。

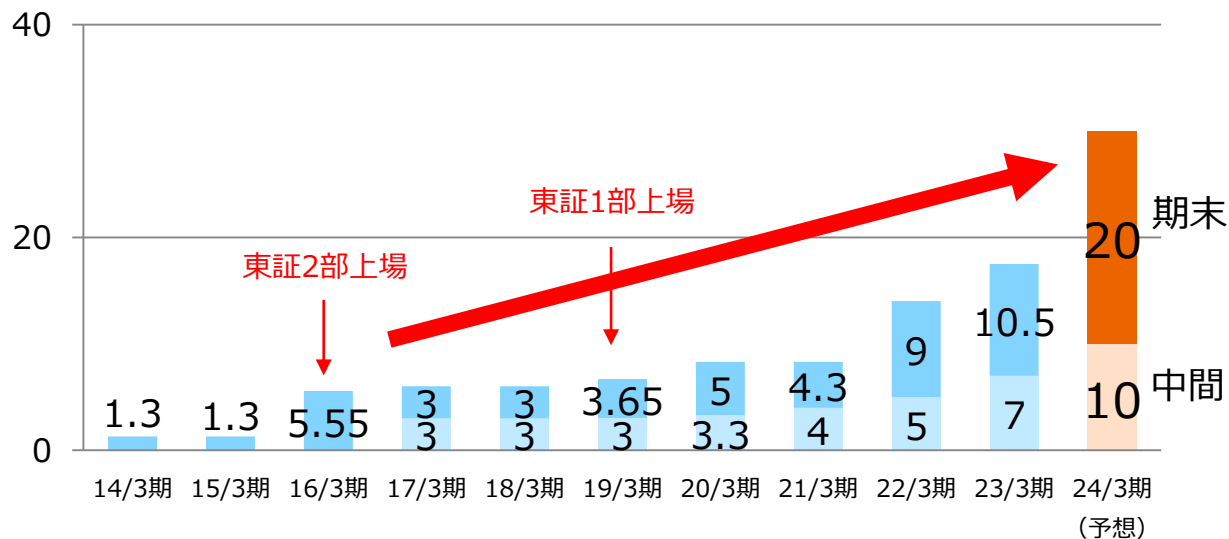


## 期末配当について、 9/29配当性向の変更に伴い5円増配の15円から、 11/13通期業績予想の修正に伴い5円増配の20円に修正

※業績動向に伴い、配当金、配当性向の見直しを実施

● 2024/3期  
普通配当年間予想  
30円/1株

※2024/3期期首に  
分割したものと計算



注) 当社は、2015年8月3日に1株を5株の割合で、2016年9月1日に1株を3株の割合で、2021年10月1日に1株を1.5株の割合で株式分割を行っており、2023年11月1日に1株を2株の割合で株式分割を行っております。配当については当該株式分割を考慮して算定しております。

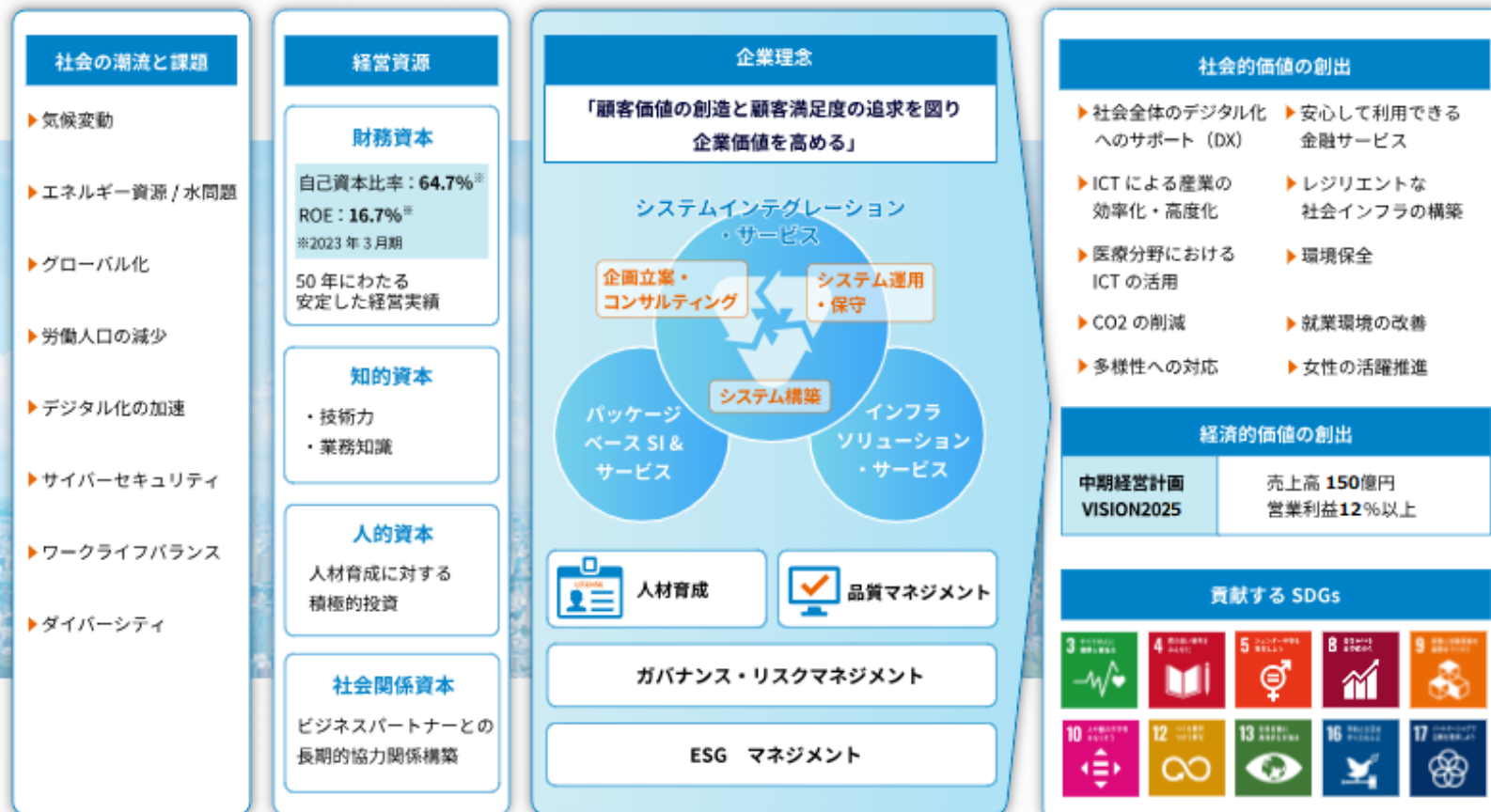
配当予想の修正については、2023年9月29日開示の「配当政策の変更並びに配当予想の修正及び株主優待制度廃止に関するお知らせ」及び、2023年11月13日開示の「第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 6. ランドコンピュータのサステナビリティについて







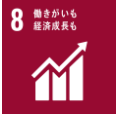






# 価値創造モデル

「私たちは解決策を創造しつづけるあなたの IT パートナーです」





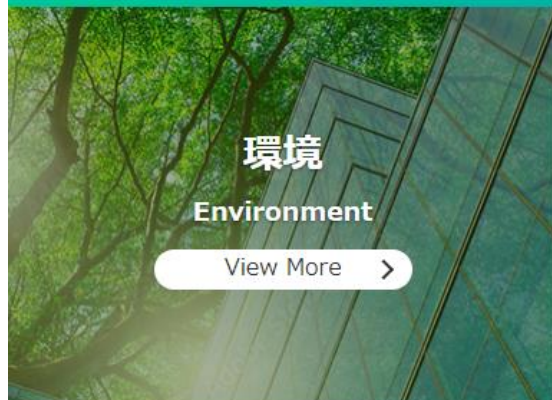
## わたしたちの 7 つの重点目標

<h3>01 人材育成</h3>	<p>優秀な技術者集団による最適なシステムソリューションの提供を通じて、持続可能な社会インフラの実現に貢献します。</p>	 
<h3>02 気候変動への対応</h3>	<p>気候変動対策への取り組みを世界共通の課題であると認識し、地球環境に配慮した企業活動を目指します。</p>	
<h3>03 人権・ダイバーシティ</h3>	<p>すべての人の人権と一人ひとりの多様性を尊重し、個々の能力が最大限発揮できる環境の確立を目指します。</p>	  
<h3>04 健康経営</h3>	<p>社員一人ひとりが心身ともに健康で明るく生き生きと働くことができる職場づくりを目指します。</p>	 
<h3>05 ビジネスパートナー</h3>	<p>ビジネスパートナーとの長期協力関係の構築を通じてSDGs目標達成に貢献してまいります。</p>	
<h3>06 品質セキュリティ</h3>	<p>高品質で安心・安全なサービスの提供を通じて、ステークホルダーから信頼される企業を目指します。</p>	
<h3>07 コーポレート・ガバナンス</h3>	<p>全ての利害関係者の利益にかなう経営の実現のために、コーポレート・ガバナンスのより一層の充実を図ります。</p>	



ランドコンピュータグループは、ESGを重視した企業経営を推進することで、優秀な技術者集団による高品質で安心・安全な社会インフラを支えるシステムソリューションの提供を通じてSDGsの目標達成に貢献し、社員一人ひとりが健康で生き生きと働くことができる職場づくりを目指します。

## ESGへの取り組み



気候変動への対応 >

人材育成 >

コーポレート・ガバナンス >

人権・ダイバーシティ >

品質・セキュリティ >

健康経営 >

リスクマネジメント >

ビジネスパートナー >

# ご視聴ありがとうございました。



Support your IT challenge

株式会社 **ランドコンピュータ**

<https://www.rand.co.jp/>

当説明資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関する最終決定は皆様自身のご判断において行われるようお願いいたします。

当説明資料で掲載している情報のうち過去の歴史的事実以外のものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また2023年11月13日現在で入手可能な情報（2024年3月期第2四半期決算短信）に基づいております。

従って、様々な要素によって今後の見通しが変更されることや実際に公表される業績が変動する可能性があります。当社は当資料を使用されたことによって生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。